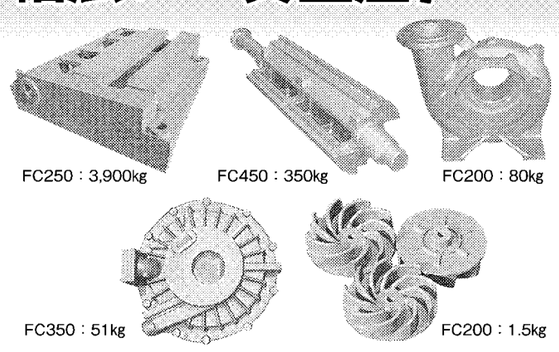
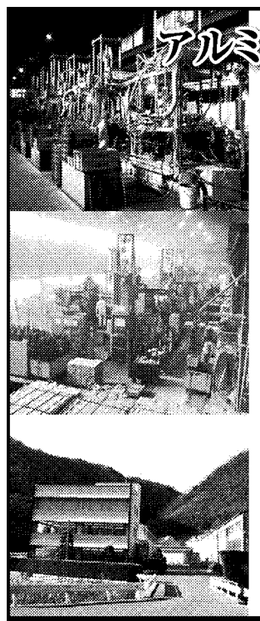
短納期で顧客要求対応
社内一貫生産
設計 製作 鋳造 加工
中央可鍛工業株式会社
■日進工場:〒470-0128 愛知県日進市浅田平子1丁目300番地 TEL.052-805-8600 FAX.052-802-1267
■中川本社:〒454-0037 愛知県名古屋市中川区富川町3丁目1番地の1 TEL.052-361-3141 FAX.052-361-3145
■熊本工場:〒869-1233 熊本県菊池郡大津町大字大津字土井ノ内31番地 TEL.096-293-4531 FAX.096-293-7996
■中国SCM(中央可鍛100%出資) 江蘇省蘇州市呉中経済開発区
http://www.chuokatan.co.jp/

従来の鋳物工場のイメージを一新。
私たちのステージは、人にも地球にもやさしい
クリーンファンドリーです。

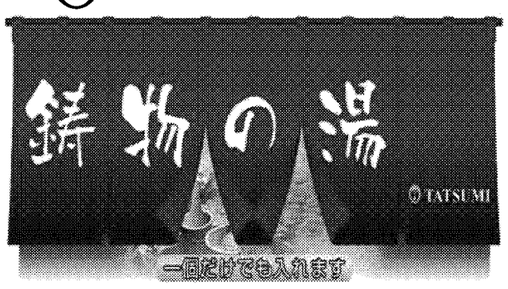
KIMURAグループ
株式会社木村鋳造所
〒411-0905静岡県駿東郡清水町長沢1157
TEL <055>975-7050
FAX <055>975-9903
http://www.kimuragrp.co.jp
E-mail:info@kimuragrp.co.jp

100g～4,000kgまで
幅広い一貫生産！
MEEHANITE

FC250：3,900kg　FC450：350kg　FC200：80kg
FC350：51kg　FC200：1.5kg
●フラン造型ライン：3ライン(大物、中物、小物)
●RDM-4自動造型ライン　枠サイズ：550×480×220／220
●KDM-8自動造型ライン　枠サイズ：850×750×330／330
佐藤農機鋳造株式会社　〒721-0966 広島県福山市手城町3-25-25 TEL 084-922-3811 FAX 084-925-3362
http://www.310imono.co.jp　E-mail:takenori@310imono.co.jp

アルミニウム合金鋳造の
専業メーカー

主要生産品目
シリンダーヘッド
(自動車用、一般産業用)
インテークマニホルド、ミッションケース
オートミッション部品、ステアリング
ブレーキシリンダー、油圧タンク
駆動系部品、減速機部品、
硬貨計算機部品、鋳造用金型、
治具、鋳造機、鋳造用セル中子
株式会社 共和鋳造所
代表取締役社長　飯居龍弘
〒715-0006 岡山県井原市西江原町5418-3
TEL 0866(63)1211
http://www.kyowa-casting.co.jp/

鋳造で一体化にし、さらに溶接しませんか!?
白心可鍛鋳鉄 (JIS G 5705)
溶接組付け品からの提案で大きく評価を得ております。

◎白心可鍛鋳鉄 ◎FC ◎FCD ◎鋳鋼(小物) ◎セミロストワックス
鋳物のことならおまかせ下さい
中井工業株式会社　本社/〒675-2105 兵庫県加西市下宮木町751
TEL.0790-49-0353(代) FAX.0790-49-0619
http://www.nakaikogyo.com　E-mail:fcmw@nakaikogyo.com

辰巳工業株式会社


〒568-0095　大阪府茨木市佐保48　TEL:072-649-2341　FAX:072-649-0562
HP:http://www.tatsumi-cast.co.jp

素材から部品加工、完成品までの一貫生産
多品種少量0.2kg～3,000kgまで製作可能
オリジナルな技術で創造への挑戦
連続鋳造・遠心鋳造・複合材
銅合金、アルミ合金鋳造
連続鋳造は最大200∅まで可能
遠心鋳造は最大1,200∅まで可能
大手では対応出来ない納期対応出来ます
中野合金株式会社
本社・工場／〒930-3261 富山県中新川郡立山町野町353
TEL(076)463-5668　FAX(076)463-5166
ホームページ http://www.nakano-metal.co.jp/

進化する技術 きっと見つかる
e-MONO in NAGOYA

杉本繁利大会実行委員長に聞く
日本の優れた鋳物づくり
世界中に積極的発信を

自動車をはじめ、日本のモノづくりをけん引する中部地区。今回、その中部地区で2008年から4年ぶりに全国講演大会が開催される。4年の間、日本の製造業を取り巻く環境は一変した。鋳物は製造業の心臓部であるだけに、今回の大会は特別な意味を持つ。そこで、日本鋳造工学会副会長・東海支部長で大会実行委員長の杉本繁利氏（アイシン高丘顧問）に大会や鋳物業界について聞いた。

日本鋳造工学会副会長・東海支部長
杉本繁利大会実行委員長
（アイシン高丘顧問）

―鋳物業界の現状はいかがでしょうか。

「11年1―12月における鋳物の生産量は、鋳鉄が約350万㌧、アルミニウムが約130万㌧となっています。現在のところ、アルミニウムは生産量で鋳鉄より少なくなっていますが、生産額を見ると上回っています。アルミニウムの生産は年々、伸びてきています」

―それはなぜでしょうか。

「鋳物がエンジンや足回り部品など、主に自動車用に使われているということがあります。11年1―12月の生産量で見ると、鋳鉄のうち約207万㌧、アルミニウムのうち約113万㌧が自動車用です。自動車は軽量化が進んでおり、これに伴い部品もより軽量な物が求められています。このため、鋳鉄よりも軽いアルミニウムの需要が伸びてきているということになります」

―鋳鉄は今後、どうなるのでしょうか。

「自動車の軽量化、生産の海外移管といった点から、日本における生産量は減っています。しかし、世界的に見ると、これまでと変わりはありません。日本や欧米ほど自動車の軽量化が求められていない国々では鋳鉄が必要とされ、また一部の製品ではアルミニウムから鋳鉄に戻すといった動きもあります。今後もあらゆる製品づくりに欠かせない重要な物です」

―自動車や海外対応というのが課題ですね。

「日本の鋳物づくりは歴史が古く、各時代の技能がつながり、進化しながら出来上がったものです。自動車部品が鋳鉄からアルミニウムに切り替えられたのも蓄積した技術を生かし、試行錯誤を繰り返した結果です。私は日本の鋳物づくりが世界で一番優れていると思っています。また、鍛造や切削では手間がかかる物を一体成形でき、軽量化、コストダウンを可能にするなどの良さが鋳物にはあります。今後、日本の優れた鋳物づくりを発信し、そこでいかに鋳物の良さを発揮していくかということが必要となるでしょう」

―そのためにも、今回の大会は重要となりますね。概要、見どころなどを教えて下さい。

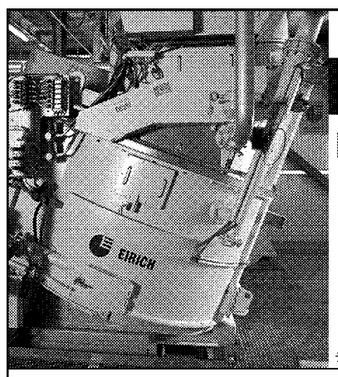
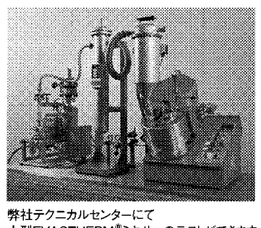
「今回の大会スローガンは『進化する技術 きっと見つかる e-MONO in NAGOYA』としました。技術展示会では最新の技術、機械、材料などを展示し、進化する鋳物の状況を披露します。また、今回は〝鋳物ファミリー〟を増やしたいとの思いから、一般の人に鋳物を認知してもらう特別コーナーを設けます。生活に身近な鋳物の展示のほか、未来を担う子ども向けの鋳物教室も実施します。このほか、日本鋳造工学会の表彰制度で受賞した企業の生産工程を見る工場見学会なども企画しています」

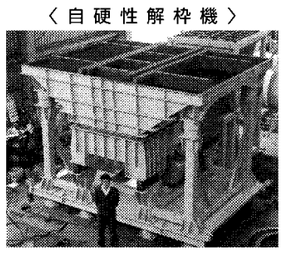
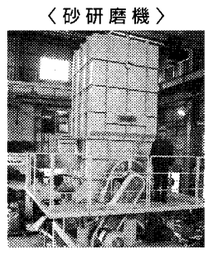
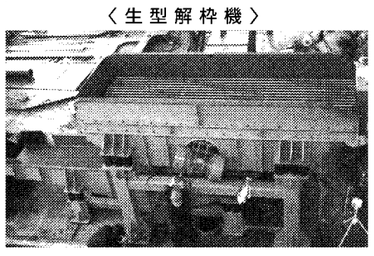
―大会では研究成果の発表も行われますね。

「各社・団体が取り組んでいる最新の研究成果が発表されます。また、日本鋳造工学会では3年前に長期ビジョンを作成しました。これに沿った10部会を立ち上げ、それぞれが新技術開発などに挑戦しています。例えばレアアースを少なくする鋳物づくりなど、将来を見据えた取り組みを展開しており、これらの成果も発表します」

―最後に大会に向けて抱負をお願いします。

「日本の鋳物づくりはこれからも進化していきます。また、鋳物関連の企業やその社員は自分たちの技術、知恵を磨き、将来に向けて鋳物の可能性を広げていきたいと誇りを持って仕事をしています。こうした取り組みの一端を披露する大会です。企業関係者はもちろん、一般の人たちにも足を運んでもらい、鋳物の進化とともに、鋳物づくりにかかわる人たちの心意気を感じてほしいと思います」


冷却、混練、調湿を1台で　アイリッヒ真空冷却混練システム
エバクテルム　EVACTHERM®
特長
・混練、冷却、調湿が1台のミキサーで可能
・ベントナイトの活性化強化
・混練砂特性の安定化
・経時変化の少ない砂の提供
・集塵風量の大幅削減
・気象条件に左右されない
・低発塵、低騒音
・省スペース
・柔軟性のあるコンパクトなプラント構造
納入実績
日本、ドイツ、イタリア、スペイン
インド、中国、韓国、他
全世界で60プラント以上の
納入実績
日本鋳造工学会
第160回全国講演大会に出展
します。ぜひ弊社ブースに
お立ち寄りください。

弊社テクニカルセンターにて
小型EVACTHERM®ミキサーのテストができます
デザインが新しくなった　アイリッヒEVACTHERM®ミキサーR23Vac型
The Pioneer in Material Processing®
NIPPON EIRICH 日本アイリッヒ株式会社
〒287-0225　千葉県成田市吉岡1210
TEL(0476)73-5251(代)　FAX(0476)73-5254
E-mail: eigyo@nippon-eirich.co.jp　http://www.nippon-eirich.co.jp/

アンダーパンチクラッシャー
〈自硬性解枠機〉

打痕防止　省エネ　防音
サンドフレッシャー
〈砂研磨機〉

静電気残らず　微粉除去　人工砂も研磨
生型用シェイクアウト
〈生型解枠機〉

打痕防止　省力化　防音
日本鋳造機械工業会会員
株式会社 清田鋳機
熊本市南区富合町釈迦堂676-10　☎096-358-5588(代)　FAX 096-358-5579
E-mail : kiyo5588@jeans.ocn.ne.jp　http://www.kiyotacyuki.ecnet.jp/

series
バリンダーで鋳仕上げのインライン化
流通コストのコストダウン・在庫量の削減
対象鋳造品
◎FC・FCD・BC製品
◎アルミ製品
GDC・ダイカスト

BARINDER F 400 Series
KOYAMA BARINDER 400
X6-CDH22R-443MR
X6-CDH22R-455MR
[対象ワーク] φ400～φ500×H200　[重量]20kg～30kg
◎生産性＝max150%
◎省エネ＝45%
(当社従来機対比)
ISO9001・ISO14001
認証取得
株式会社つやま
〒381-2224 長野市川中島町原1111番地
TEL.026-292-2700(代表)　026-292-2722(開発)
URL http://www.barinder.biz

先端の技術が、
創り出すコミュニケーション。
さまざまな素材、多彩な技術を柔軟に活かし、
広範囲な分野に広がる製品群を提供しています。

アイシン高丘株式会社
http://www.at-takaoka.co.jp
■本　社　〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1　TEL(0565)54-1123
■東京営業所　〒105-0014 東京都港区芝2-3-3　TEL(03)5440-7200
■中部営業所　〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1　TEL(0565)54-1193
■大阪営業所　〒542-0081 大阪市中央区南船場4-3-11　TEL(06)6241-1526
■広島営業所　〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10-6　TEL(082)223-5840